

# 令和7年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※提出された申請書の内容は、個人情報を除いて公開する場合がありますので、ご了承ください。

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	スタート部門
------	--------

※プルダウンから選んでください

## 【1】事前相談

(1) 市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談 ※スタート部門は必須、一般・団体連携部門は任意です

コーディネーター名	小幡 美奈子
事前相談日	4月18日

※複数回相談した場合、全てご記入ください

(2) 協働を希望する課への事前相談 ※スタート部門は任意、一般・団体連携部門は必須です

協働希望課名	子育て支援課
事前相談日	4月28日

※複数回相談した場合、全てご記入ください

## 【2】応募要件

該当する部門の応募要件の太枠内に、○を記載してください。（プルダウンになっています）

団体要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	5名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	○
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	○
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から3年以内の団体である。	○
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1年以上の活動実績を持っている。	
一般部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去3回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去2回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	異なる複数の団体による連携提案である。（申請者・団体概要をそれぞれ記入要）	
事業要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としない。	○
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	○
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	○
全部門共通	翌年3月31日までに事業を完了できる。	○
一般部門、団体連携部門	昨年度採用されていない事業である。（昨年度採択されている事業で、新しい工夫・発展性が見受けられる場合は除く）	○



設立年月日（西暦）	2024年 4月 20日 （設立 1年目）
団体概要	※記入しきれない場合、別に資料（団体パンフレット、HP等）を併せて提出してください。
（1）設立の目的	<p>【事業の背景と課題認識】</p> <p>日本のひとり親世帯は約119万世帯にのぼり、約50%が相対的貧困の状況にあるとされ、行政による各種支援制度は多岐に渡るものの、制度の煩雑さや情報格差により、必要な支援にたどり着けない家庭が多く存在します。特に、制度の併用や申請手続きに関する知識・時間が不足している世帯では、支援を十分に活用できず自立を諦めてしまう傾向にあります。</p> <p>【この課題を解決するには？】</p> <p>この課題を解決するには支援制度の利用をより円滑に進めるために「専門的な情報」と「アクションプラン」を短期間に習得し、自立に向けたコストを最小限にすることが必要です。</p>
※設立のきっかけや現在に至る経緯等	
（2）今後の目指していきたいこと	<p>【本事業の目的】</p> <p>1名につき全6回のプログラムを通して「情報・知識」と「アクションに向けたプラン」を短期間に習得することで自立に向けたスタートダッシュを目指します。同時に、習得度や心境の変化をアウトプットすることで事業実績も測っていきます。</p> <p>【今後の展開】</p> <p>最終的なゴールは、自立に不可欠な要素である「生涯年収の向上」を実現することです。そのためには、「自立支援プログラム」が当事者にとってメリットがあるだけでなく、就労先企業にとっても価値のある存在でなければなりません。</p> <p>シングルナビは、この目標を達成するために、当事者ニーズと社会ニーズをつなぐ架け橋となることが重要であると考えています。</p> <p>双方にとって持続可能な関係性を築くことで、ひとり親世帯の自立と、企業・社会全体の発展に貢献してまいります。</p>
※団体ビジョンや団体ミッション等、将来達成したい理想の状態や目標、団体が果たすべき存在意義等	
活動概要	以下に記入してください。
（1）主な活動履歴	<p>【2024年6月】 石川イノベーションスクールでひとり親の自立支援に関するテーマをビジネスモデルとして設計するため、ひとり親の実態に関する調査を開始。ヒアリングや、行政支援の課題探求を行う。</p> <p>【2025年4月】 ビジネスプランプレゼンテーション2025でひとり親自立支援プラットフォーム「シングルナビ」を発表し企業賞を受賞する。</p> <p>【現在】 シングルナビの「自立支援プログラム」の社会実装のため、金沢市協働のまちチャレンジ事業に応募。</p>
（2）得意分野・活躍できること	<p>新しいことにチャレンジすることを得意とし、40代からボディビルのコンテスト出場やプログラミング資格の取得に挑戦し、現在はシステム開発会社に就職しています。</p> <p>仕事では人事や採用業務を通じて、多様な特性を持つ方々と関わる中で、社会課題への関心も大きく広がりました。</p> <p>これまで社会課題の解決は、寄付や補助金を中心とした運営が主流でしたが、支援を持続的に続けていくためには「ソーシャルビジネス」という概念が不可欠だと感じています。</p> <p>公益性をしっかりと担保しながら、ビジネスの力で社会課題を解決する、そんなモデルを実現させたいと考えています。</p>
※専門的知見、連携先、アピールポイント等	
HP,SNSのURL	

※団体連携部門の場合、当該「【3】申請者・団体概要」は連携先団体の分も必要であるため、シートをコピーし、シート名を「団体連携先」として記載願います。その場合、記載が必要な部分は「【3】申請者・団体概要」部分のみです。

## 【4】 企画内容

提案事業のテーマ	金沢市未来共創計画の5つの基本方針の中から、該当するテーマを選んでください。 【参考】未来共創計画の一覧はこちら↓ <a href="#">未来共創計画 基本方針一覧</a>
テーマ（プルダウン）	小テーマ（左セルでテーマを選ぶと、選択肢をプルダウンから選ぶことができます）
基本方針2_暮らしづくり	(2) 誰もが安心して共に暮らせる地域社会の実現
※テーマが複数に渡る場合、副次的なテーマを以下から選択してください。	
協働を希望する課名	子育て支援課
企画のタイトル	ひとり親自立支援プログラム「シングルナビ」
事業の概要	※①～③の流れに沿って、具体的に記載してください。
①現状の地域課題 (金沢市における困りごと、改善したい点、従来認識されていなかった課題 等)	<p><b>【ひとり親世帯を取り巻く現状】</b></p> <p>日本国内のひとり親世帯数は約119万世帯にのぼり、そのうち約50%が相対的貧困の状況にあるとされる。特に母子世帯では、非正規雇用率が高く、平均就労年収は236万円程度と、同年代の平均を大きく下回っている。こうした経済的困難は、教育・医療・住環境といった基本的な生活領域にも影響を及ぼし、次世代の機会格差を固定化する要因となっている。</p> <p><b>【支援制度の現実と活用の障壁】</b></p> <p>国や自治体はさまざまな自立支援制度を整備している。生活保護、児童扶養手当、就業支援、住宅補助など、多岐にわたる制度が存在するものの、その情報は煩雑かつ分散しており、支援の全体像を把握するのが困難な状況である。特に制度の併用可否や申請順序に関する知識を求められる場面では、時間的・精神的余裕のないひとり親世帯が制度を適切に利用できないという構造的課題が浮かび上がる。この課題は地方都市・金沢市においても例外ではない。</p>
②ねらい・コンセプト (①で記載した課題解決のために、 ・アプローチする方向性 ・工夫する点 ・協働する意義 ・市民が共感できる点 等)	<p><b>【自立支援制度の利用率向上と自立の実現】</b></p> <p>シングルナビは、「支援制度にたどり着けない構造」そのものを解体し、ひとり親の自立を“仕組み”で支えることを目的とする。支援制度の情報を整理・可視化し、誰もが迷わず必要な制度にアクセスできる環境を整えると同時に、就労・教育・家計といった自立に不可欠な分野への継続的なサポートを提供する。自立とは単なる制度の卒業ではなく、生涯年収を向上させ、将来設計が描ける状態に至ること。シングルナビは「制度を使いこなす力」を育み、伴走型でそのプロセスを支援する。コンセプトは、“制度”と“社会”の間に立ち、社会の機能を使いこなせる力をすべてのひとり親に届ける「ナビゲーター」となることである。</p> <p>その中でも今回のチャレンジ事業では「自立支援プログラム」を通して「専門的な情報」と「アクションプラン」を短期間に習得し、自立に向けたコストを最小限にすることがねらいである。</p>

<p>③実施内容案</p> <p>年間事業スケジュール案について、必要があれば使用してください↓</p> <p><a href="#">事業スケジュールひな形</a></p>	<p>実施予定時期：2025年7月～12月</p> <p>対象者（ターゲット）：ひとり親10名（全6回を通して受講）</p> <p>予定場所：金沢学生のまち市民交流館、金沢未来のまち創造館、教育プラザ富樫、他</p> <p>実施内容：ひとり親自立支援プログラム</p> <p>広報・周知の方法：チラシ、SNS</p> <p>年間事業スケジュール案：</p> <table border="1" data-bbox="432 387 1214 692"> <caption>年間スケジュール案</caption> <thead> <tr> <th>事業内容・準備</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>課題調査・ニーズ検証</td> <td>準備</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プログラム設計</td> <td>準備</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>周知・告知</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イベント実施</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間報告</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>振り返り・報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>他、特記事項：プログラム予定（仮）</p> <p>第一回：はじめの一步「ひとり親のライフデザイン」ワークショップ形式（協力：シンママ応援団）</p> <p>第二回：支援制度を武器に「支援制度の仕組みを理解する」セミナー形式（講師：未定）</p> <p>第三回：お金の基本「手当と生涯年収の関係」セミナー形式（講師：松田康宏）</p> <p>第四回：キャリアプラン「理想的な就労環境とは？」セミナー＆ワークショップ（講師：和田矩子）</p> <p>第五回：就労「企業が欲しい人材とは？」対話式ワークショップ（講師：民間企業）</p> <p>第六回：振り返り「ビジョンマップとこれからのアクション」セミナー＆ワークショップ</p>	事業内容・準備	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	課題調査・ニーズ検証	準備	●										プログラム設計	準備	●										周知・告知		●										イベント実施			●	●	●	●	●	●				中間報告						●	●					振り返り・報告書作成			●	●	●	●	●	●	●		
事業内容・準備	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																										
課題調査・ニーズ検証	準備	●																																																																																			
プログラム設計	準備	●																																																																																			
周知・告知		●																																																																																			
イベント実施			●	●	●	●	●	●																																																																													
中間報告						●	●																																																																														
振り返り・報告書作成			●	●	●	●	●	●	●																																																																												
<p><b>事業効果</b></p>	<p>※金沢市における効果や、事業の対象者が具体的にどうなるか等、記載してください。</p>																																																																																				
<p>期待できる事業効果</p> <p>(広く市民が共感できるか、他団体や行政・企業とのつながり、協働の効果がみえるか 等)</p>	<p>【「シングルナビ」が目指す社会像】</p> <p>シングルナビの第一の実行施策として「ひとり親自立支援プログラム」を展開する。本プログラムでは、単なる知識の提供にとどまらず、当事者が主体的に制度を活用し、経済的・社会的な自立に向けて着実に一步を踏み出せるよう構成されている。具体的には、座学による制度解説に加え、ワークショップ形式での課題解決型学習や、外部講師を招いた実践的セッションを組み合わせ提供する。</p> <p>取り扱うテーマは、行政支援制度の理解にとどまらず、就労支援、家計管理、子育て支援、将来設計といったライフデザイン全体にわたる。特に重要視しているのが「就労への接続」である。非正規雇用や短時間労働に留まることなく、可能な限り安定した就労環境への移行を支援することで、長期的な収入の向上を図る。</p>																																																																																				
<p>その他 特記事項</p> <p>(今回応募した動機・熱意、本事業を通して何を得たいか等)</p>	<p>【今後の展開と行政との連携】</p> <p>今後は、行政支援制度の可視化機能やデジタル申請サポート、条件診断機能などを実装したオンラインプラットフォームを構築する計画である。金沢市との連携のもと、地域におけるモデル事業として検証・改善を繰り返し、制度活用による生活再建、社会保障加入、教育機会拡大を実現する。最終的には、貧困の連鎖を断ち切る循環型支援モデルの構築を目指す。</p>																																																																																				